

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2011.07.25~07.29

記事の詳細は、情報検索サービス
『キジサク』でご覧になれます。

*記事は東京発行・最終版

CHINA

7月25日(月)

中国での特許出願を支援
中国語、高精度に機械翻訳／特許庁
特許庁は、中国での技術特許や実用新案の出願急増に対応するため、中国語の機械翻訳を高精度で実現する日本語辞書と要約(抄録)データベース(DB)の開発に着手する。(1面)

北中国 海峡地 インド西岸

川崎汽船は、8月に北中国 海峡地 インド西岸を結ぶ新サービスを開設。エバーグリーン・ラインとシマテック・シッピングとの協調運航。2500 2800TEU型コンテナ船6隻投入する。(17面)

日本の食品・飲料、少し回復
購買意欲／5月末調査

日本から輸入した食品と飲料品について、中国で5割程度の人が購買意欲が下がるとしている。インテージのグループの現地企業が5月に調査した。7~8割だった4月に比べ回復傾向。(22面)

電子書籍大国への道
中国電子書籍ビジネス調査報告書2011

紙の出版物の普及が遅れていた中国は、電子書籍が急速な発展を遂げ、「電子書籍大国への道を歩みつつある」。インプレスR&Dが『中国電子書籍ビジネス調査報告書2011』を発売。(22面)

中国はWTO違反

レアメタル輸出規制

WTOの紛争処理小委員会は、中国のレアメタル(希少金属)など鉱物資源の輸出規制はWTO協定違反とする報告書をまとめた。外務省は「一連の流れを見極めてから訴えるか決める」。(22面)

香川県、出展費用を一部支援

中小企業・団体向け／香川県

香川県は、中小企業・団体による上海などの見本市・商談会出展を支援する事業を創設した。高松と上海を結ぶ航路開設を受けた措置。中国の格安航空が週2往復、利便性が高まる。(33面)

7月26日(火)

コーセル、中国に2社

スイッチング電源を製販

コーセルは、中国にスイッチング電源の製造・販売会社を2社設立する。100%出資の現地法人と、香港企業との合弁。生産能力を増強し現地で産業用電子機器向けに拡販する。(3面)



7月23日に起きた中国版新幹線の追突脱線事故は、中国の高速鉄道計画にも大きな影響を与えそうだ(ブルームバーグ)

新幹線 - 信頼の「枯れた技術」、中国高速鉄道で事故

中国高速鉄道で事故が23日発生した。日本の新幹線は、死亡事故が一度もない。先端技術をあえて避け「枯れた技術」にこだわり続けるのは、信頼性が確認されているからだ。(深層断面=36面)

プレス工業、キャビン工場
ミニショベル用／日・米系の建機向け

プレス工業は、江蘇省に100%出資のミニショベル用キャビン製造会社を2012年1月に設立する。キャビンの組立工場を新設。日系・米系の建設機械メーカーに納める。

中国水質保全研究に2件
オルガノ／劉・吳の両氏

オルガノは、中国の水質保全に貢献する大学院生の研究を支援する「オルガノ賞」を決めた。一等賞は劉麗氏(中国科技大学)と吳鶴氏(中国科学院生態環境研究センター)の2件。

三菱電機、中国内陸部で攻勢
放電加工機2倍／レーザー・2.5倍

三菱電機は、中国で2015年に放電加工

三井不動産、広州に現法
商業施設・分譲住宅・複合開発

三井不動産は、広州市に100%出資の現地法人を設立し、8月22日から営業を始める。中国現法は3才目。1人あたりGDPは中国2位。商業施設や分譲住宅・複合開発などを積極展開。(21面)

瀋陽に投資ファンド
日本アジア投資／日系の進出支援

日本アジア投資は、瀋陽万潤新城投資管理と共同で、中国ビジネスの拡大を志向する日本企業や事業拡大を目指す中国企業に投資する「万亞(瀋陽)創業投資基金(仮称)」を設立する。(23面)

7月27日(水)
綜研化学、中国に新工場

家電向け粘着テープ増産

綜研化学は、2012年度以降に華東地区で家電など産業向け粘着テープの生産拠点を新設する。15億円投資。出資する寧波綜研化学会社が生産しているが、相次ぐ増資投資で敷地が手狭に。(2面)

住生活、ハイアールと合弁
建材・住設／青島に新会社

住生活グローバルは、中国家電大手の海

ガス田、シェルと開発
国際石油帝石／インドネシア

国際石油開発帝石は、インドネシアで操業主体として開発準備を進めている大規模ガス田「アバディプロジェクト」で、ロイヤルダッチシェルを戦略的パートナーに選定した。

ベトナム海上鉱区権益取得
JX日鉱日石開発

JX日鉱日石開発は、ベトナム北部海上の探鉱鉱区権益の一部を取得了。権益20%で面積は約4914平方キロ。操業主体の英サラマンダー・エナジー(権益50%)から取得了。(16面)

技能実習生、年齢引き上げ
ベトナムと合意／女性も

国際人材育成機構は、外国人技能実習生受け入れで、年齢の上限の引き上げと女性の受け入れに乗り出す。ベトナム政府と基本合意。すでにタイやインドネシアとも基本合意している。(22面)

7月26日(火)
シンガポールから東北親善大使

被災地や平泉視察／大学生100人

日本政府観光局とシンガポール日本商工会議所は、シンガポールの大学生100人を「東北親善大使」として受け入れる。被災地を視察。仙台の七夕祭りや世界文化遺産・平泉を訪れる。(3面)

三菱重工、タイに一部移管
車用過給器／月4万台

三菱重工業は、相模原製作所の自動車用ターボチャージャー(過給器)の生産ラインの一部を年内にタイ工場に移管する。機械加工の2ラインで月間4万台規模。来年には本格稼働。(6面)

リヨーサン、印・中に拠点
車載電装を強化

リヨーサンは、海外拠点網の拡充に乗り出す。2012年3月末までにインド、ドバイで初の拠点を設置する。中国に4支店を相次ぎ新設する。これらの地域で、車載電装分野に重点を置く。(12面)

日立化成・韓国をクラウド管理
日立ソリューションズ／低コスト

日立ソリューションズは、日立化成工業が韓国・安山市に構える感光性フィルム加工工場の生産管理システムをクラウドコンピューティングで構築した。3分の1のコストで構築。(13面)

Asia

7月25日(月)

韓国LED、日本に攻勢

節電志向／ウォン安で5割安

日本で節電志向が高まっていることから、韓国のLED関連企業が日本に販売攻勢。ニシユキギヨンは植物工場向けのLEDランプ。品質は同等、円高・ウォン安で価格は3~5割安い。(22面)

ガス田、シェルと開発
国際石油帝石／インドネシア

国際石油開発帝石は、インドネシアで操業主体として開発準備を進めている大規模ガス田「アバディプロジェクト」で、ロイヤルダッチシェルを戦略的パートナーに選定した。

黒崎播磨、インドにマッド工場
年産1万8000トン

黒崎播磨は、インドのペルバール工場でマッド工場を建設する。年産能力はタール系とレジン系合わせて1万8000トン。マッドは高炉の出銭口の閉塞に使う粘土状の耐火物。

関西電力、シンガポールに技術
配管腐食抑制技術

関西電力は、シンガポールの発電会社セノコ・エナジーに火力発電所の配管腐食抑制技術を移転する。配管の水にアンモニアを注入しPH9.8以上のアルカリ性に調整する。(13面)

7月26日(火)
シンガポールから東北親善大使

被災地や平泉視察／大学生100人

日本政府観光局とシンガポール日本商工会議所は、シンガポールの大学生100人を「東北親善大使」として受け入れる。被災地を視察。仙台の七夕祭りや世界文化遺産・平泉を訪れる。(3面)

三菱重工、タイに一部移管
車用過給器／月4万台

三菱重工業は、相模原製作所の自動車用ターボチャージャー(過給器)の生産ラインの一部を年内にタイ工場に移管する。機械加工の2ラインで月間4万台規模。来年には本格稼働。(6面)

リヨーサン、印・中に拠点
車載電装を強化

リヨーサンは、海外拠点網の拡充に乗り出す。2012年3月末までにインド、ドバイで初の拠点を設置する。中国に4支店を相次ぎ新設する。これらの地域で、車載電装分野に重点を置く。(12面)

日立造船、印に現法
都市ゴミ焼却発電など

日立造船は、インド・デリー郊外に現地法人「日立造船印度」を設立した。インドは社会インフラ整備が活発化、都市ゴミ焼却発電施設、プロセス機器やシールド掘削機などの受注を狙う。(7面)

韓・印が原子力協定
印は韓国に原発用地

韓国の李明博大統領とインドのパティル大統領が、ソウルで会談し原子力協力協定を締結。平和利用を保障、原発の設備や部品の貿易を推進。インドは韓国に原発用地を分配できる。(時事=15面)

7月27日(水)
山九、インドに新倉庫

ハリヤナ州／自動車・電気製品

山九は、10月にインドのハリヤナ州グルガラム地区に新倉庫「山九インドグリハルサル」ロジスティクスセンターを開設する。自動車、電気製品などの顧客の国際物流ニーズに対応。(21面)

アジアで販売金融事業
三菱UFJリース／産機・建機に需要

三菱UFJリースは、中国、アジア新興国を対象に販売金融事業に乗り出す。産業機械、建機など日系メーカーの拠点進出が相次ぐのにに対応、リースや割賦販売の取り扱いを始めた。(23面)

L E D、韓国に製造委託
F K K /月400万個

F K Kは、看板や照明向けに表面実装タイプや砲弾タイプのLEDを日本国内の自社拠点で開発し、素子やモジュールの製造を韓国メーカーに委託。L E D素子を月間400万個程度実装。(33面)

日立、年産18万台
インドネシア／低燃費車を増産

日産自動車は、2013年までにインドネシアでエンジン組立工場を新設するほか、車両生産能力を年5万台から同18万台に。約250億円投資。優遇税制の小型の低燃費車を増産。(6面)

日立、越に2輪車第3工場
スクーター年50万台

ホンダは、ベトナムに2輪車の新工場を建設する。年产能力50万台でスクーターを生産する。日本が提唱する「アジアゴーハイウェイ構想」の一環。技術・ノウハウを提供する初のケース。(2面)

7月28日(木)
通関システム、ベトナムに提供

カーゴハイウェイ／初の提供

財務省は、日本政府が開発した通関業務関連システムの技術をベトナム政府へ提供する。日本が提唱する「アジアゴーハイウェイ構想」の一環。技術・ノウハウを提供する初のケース。(2面)

7月29日(金)
G M B、現代自にH Vポンプ

年3万台／E V向けも試作

G M Bは、韓国の現代自動車グループからハイブリッド車向け電動オーバーランポンプを受注し、供給を始めた。年間3万台以上。併せて、新型電気自動車向け同ポンプも試作した。(5面)

三菱、インド生産50%
ボイラ・タービン／600万キロワット分

三菱重工業は、超臨界圧石炭火力発電所向けボイラ、蒸気タービンのインド生産拠点の年产能力を50%増に引き上げる。年产能400万キロワット分を、2013年以降に同600万キロワット分にする計画。(6面)

三井化学、ウレタン原料を増産

韓国合弁3割増強／年20万トン

三井化学は、韓国の合弁会社・錦湖三井化学のジフェニルメタンジイソシアネート(MDI=ウレタンの主原料)生産能を約3割増す。約26億円を投資。(14面)

爾集団(ハイアール)と、中国市場での建材・住宅設備機器の生産・販売強化に向けて、合弁会社設立を合意した。年内に、山東省青島市に新会社を設立。(3面)

日産、中国に6100億円投資

販売230万台／新型車30万台

日産自動車は、中国で2015年末までに6100億円を投資し、同年の販売台数を95万台増の230万台以上に引き上げる。電気自動車(EV)など30の新型車を投入する。販売店舗は2400に拡大。(6面)

ホンダ、中国生産100万台

2013年には年産36万台

ホンダは、中国の4輪車生産・販売の合弁会社である東風本田汽車が累計生産100万台を達成した。2004年にSUVの「CR-V」生産を開始。当初は年産3万台。13年には年産36万台になる。(6面)

上海でモバイル広告

ディーソーコミュニケーションズ